

発行日 2016年6月20日

発行所 特定非営利活動法人いこま国際交流協会

TEL/090-8237-2463 FAX/0743-74-3190

E-Mail info@ikoryu.net ホームページ www.ikoryu.net



れんぞくがくしゅうかい
ikoryu連続学習会を
 かいさい
開催しました!

いこま国際交流協会は、今年で10年の節目を迎えます。この10年間を振り返り新たな10年の活動を創造するために2回の連続学習会を実施しました。

1回目は4月13日(日)生駒市図書館にて、開催しました。まず始めに奈良教育大学渋谷真樹先生より、本学習会のテーマ「ルーツからルートへ～外国にルーツを持つ子どもたちのアイデンティティを育てるために～」についての問題提起がありました。

それは、今、世界のグローバル化の中で様々な文化的背景を持っている子どもたちが増えている。日本で働くためにやってきた日系ブラジル人やペルー人・中国から帰国した残留日本人の家族や留学生、そして、国際結婚の増加、海外で育つ日本人など背景は様々。子どもの国籍や来日時期に関係なく日本語指導を必要とする子どもたちがいる。アイデンティティも多文化になっている。自分がどういうルーツを持つのか、自分はどう生きてきたのか、どのように今生きるのか(ルート)自他ともにそれを認めることが必要でありそのためには教育の力が必要だというお話でした。

次に奈良県外国人教育研究会事務局の大久保佳代先生より、奈良県や生駒市における外国にルーツを持つ子どもたちの現状や課題、多文化共生の取り組み、そしてその成果や課題についての報告がありました。

最後にいこま国際交流協会の子ども向けプログラム、デティクラブの活動についての報告があり、

参加者の今の思いや現状を出し合いました。

この学習会の中では、子どもたちが成長していくにつれ自分のルーツで様々な事象や言動にぶつかり悩んでいること、同じ悩みを持つ子どもたちの集まる場が必要だという話が出てきました。そこで、先進地域での取組に学び、新たな10年の活動を考えようということになりました。

2回目は、5月13日(日)同じく生駒図書館にて生駒市教育長中田好昭さんはじめ人権施策課、教員、会員を含め20名の参加を得て開催しました。この学習会では、ikoryuの10年間の取組の歴史を振り返るとともに「公益財団法人とよなか国際交流協会」より事務局長の山野上隆史さんと若者支援事業コーディネーター金和永さんをお招きし、その活動についてのお話しをお聞きました。

とよなか国際交流協会は、豊中駅下車すぐのビルの中に活動拠点のスペースを持ち、豊中市の指定管理者として国際交流事業を展開しています。

「市民の主体的な広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域から進め、世界とつながる多文化共生社会をつくる」という基本理念に基づいて人づくり場づくりを中心に様々な外部団体とも連携を取りながら活動を展開しています。子ども事業として学習支援事業「サンプレイス」や多文化フェスティバル「たぶんかミニとよなか」を開催したり、子ども母語として同じルーツを持つ若者が先生となって母語保障の取組をしたりしています。また、若者事業として若者の居場所づくり活動「たまりば」、映像作品づくりをする「てーげー部」仕事の悩みややりたいことを語り合う「おしごとカフェ」などなど集まってきた何人かの者がしたいと思う活動を形にして展開しています。

これらの生き生きとしたたくさんの活動をお聞きして、外国にルーツを持つ子どもやおとなが日常的に集まる場があることでより広い活動が展開できるということを実感しました。いこま国際交流協会として設立当初からの課題であった、外国にルーツを持つ市民がいつでも自由に出入りできる、そこに来れば同じ悩みを持つ外国人市民と出会うことができる、相談できるスペースが生駒市にも必要だということを変更して実感させられる学習会となりました。

お忙しい中ご参加いただいた教育長さんはじめ行政の方々、先生方、会員の皆さんご苦労様でした。

NPO 法人いこま国際交流協会

2016年度 総会

日時：7月17日(日曜日) 13:00～16:00

場所：たけまるホール

小ホール

*今回の総会は NPO 法人いこま国際交流協会 10 周年記念行事と会員同士の全体交流会を合わせて行います。

< 行事日程 >

13:00～13:30 総会

13:30～14:10 記念講演

行基菩薩の業績から学ぶ生駒の歴史と課題

講師 キムコンチョル 金潤哲さん(ikoryu顧問)

14:30～16:00 レセプションと全体交流会

会員の皆さん多数ご参加ください

ハロハロ☆ikoryu 中国 day

開催しました!

3月3日(日) ハロハロ☆ikoryu 中国 day を開催しました。今回のハロハロは「トキさんの絶品餃子づくり」でした。講師は中国出身のトキさんです。

まず、強力粉と薄力粉を混ぜて餃子の皮の生地をこねました。こねた生地はボールに入れてラップをしてねかします。これを2回繰り返します。いよいよ餃子の皮づくりです。生地の塊から小分けした塊を細長くころがしながら伸ばします。それをさらに小分けして綿棒を使って丸い皮に成形します。丸い皮の内側にむかって綿棒を転がし伸ばすのがコツです。おとなも子どもも悪戦苦闘しながら楽しく餃子の皮を作りました。餃子の皮の中には塩もみしたみじん切りのキャベツ・豚ミンチ・干しシイタケ・干しえび(いずれもみじん切りにしたもの)をしっかり混ぜこんだ具を入れてつつみます。

一つ一つ大切に作った餃子をみんなでおいしくいただきました。レシピは、いこま国際交流協会のホームページ www.ikoryu.net に掲載しています。ぜひ皆さん作ってみてください。



今年も ikoryu room

OPENしています!

いこま国際交流協会では、ikoryu ルームを開いています。ikoryu ルームは、多文化共生・国際交流をすすめる人たちが集まるオープンスペースです。月2回、ららポート3階の一室を開放しています。

(開催予定)

6月27日(月) 7月11日(月)

9月12日(月) 9月26日(月)

12:00～15:00

気軽に来て
ください♪

ハロハロ☆デティクラブがスタートしました！

第1回5月14日(土) コートジボアール



コートジボアールの紹介やお話を聞きました。

ジャンベのリズムで踊りも楽しみました。

第2回6月11日(土)



韓国のお正月について教えていただきました。
韓国でもお正月には日本お雑煮のようなトック食べたり、入り口に藁で編んだ飾りをつけたりします。

韓国のお正月の遊び、日本のすごろくに似た「ユンノリ」で盛り上がりました。少し早いです、七夕の工作もしましたよ。

本年度からデティクラブ 中学生・高校生ミーティング

始めました。

Program for For junior high and high school students

外国にルーツを持つ子どもたちの学習のお手伝いと日本語指導を行います。

学習のあとには、おしゃべりタイム。

学校での悩みや友だちのこと、今考えていることを思い切り語り合しましょう。

同じ悩みを経験した先輩たちの経験談も聞いてみよう。

時間：15:00～16:00

場所：俵口自治会館

参加費：無料

デティクラブと同時開催

保護者プログラム Program for parents

ハロハロ☆ミーティング

日本で子育てしているママたち、みんなで自由におしゃべりしましょう。

先輩ママや先生たちが、あなたの「ことば」で子育てを応援します。

参加費：無料



ハロハロ☆デティクラブは生駒市民が選択する市民活動支援事業「マイサポ」に登録しています。会員の皆さんぜひあなたの1票をデティクラブにお願いします！！

ikoryu サマースクール

かいさい 開催します

毎年夏休みに開催している、ikoryu サマースクールの今年も下記の予定で開催します。サマースクールでは、夏休みの学習のお手伝いや日ごろの学習で分からないところなどを教えます。

外国にルーツを持つ小学生・中学生の皆さん、ぜひご参加ください。

日時 7月30日(土)・31日(日)
10:00~15:00まで

場所 たけまるホール 研修室4・5

持ち物 夏休みの宿題・問題集
筆記用具・お弁当

同時開催 高校進学説明会

7月31日(日) 10:00~12:00
研修室2

※ 小学生・中学生への学習ボランティアを募集します。連絡先 Tel 090-8237-2463(夜間のみ)

Fax 0743-74-3190

<つれづれトーク>

Ikoryu の活動も10年目を迎えました。今回の総会は10年の節目を迎えこれまでの活動を振り返る総会にしたいと思えます。ニュースレターで振り返ると10年前はみんな随分若かったなあと思えます。

でも、パワーは相変わらず!!これからもバリバリ活動していきたいと思っています。多くの皆さんこれからもご協力をよろしく願いいたします。



ikoryu 活動案内

7月	17日(日)	2016年度 ikoryu 総会
	30・31日	Ikoryu サマースクール
8月	6日(土)	いこまどんどこまつり
9月	4日(日)	ハロハロ☆ikoryu No33
	10日(土)	デティクラブ③
10月	8日(土)	デティクラブ④
11月	12日(土)	わいわいワールド
12月	4日(日)	第10回 ikoryu 音楽祭
	10日(土)	デティクラブ⑤
2017年		
1月	14日(土)	デティクラブ⑥
2月	18日(土)	デティクラブ⑦
3月	5日(日)	ハロハロ☆ikoryu No35

<多文化共生教育の現場から>

～イギリス～

イギリスは、とても多文化な社会です。人口の1割以上は外国生まれで、外国にルーツのある人々を含めたら、もっと多文化です。白人の生徒の方が少ない学校も珍しくありません。この春に訪問した中等教育学校でも、パキスタンやバングラデシュ、インドにルーツのある子どもたちが多くを占めていました。肌の露出を避けるイスラム教徒の生徒のために、女子でもズボンの制服を選べるようになっていきますし、スクールカラーに合わせたベールもあります。母語の授業もあるのですが、最近では受講希望者が少なくなっており、むしろ新しい文化への興味から、日本語や韓国語を履修する生徒もいるとのこと。必修の宗教の時間は、特定の宗教の信仰を目的にするのではなく、多様な宗教への気づきや理解を促すものです。地域には、南アジアの人々の貢献を示す資料館があって、彼らがしっかりと市民として根付いていることを感じました。